

動物実験に関する自己点検・評価報告書

(2025 年度)

一般社団法人 日本科学飼料協会

I. 規程及び体制の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☒ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 一般社団法人日本科学飼料協会 科学飼料研究センター動物実験指針 一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験委員会運営要領 一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験管理委員会運営要領 一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験実施計画申請要領 一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験に関する自己点検・評価の実施要領
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内の規程があることを確認。 昨年度、改善の指摘のあった作業中に急な計画変更が必要になった場合の対応方法を決めフローチャートが作成されたが、一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験実施計画申請要領の本文の改訂が行われていないため、追加する必要がある。
4) 改善の方針 決定している急な計画変更があった場合の手順の内容を一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験実施計画申請要領に加える必要がある。

2. 動物実験管理委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験管理委員会が置かれている。 ☐ 動物実験管理委員会が置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験管理委員会が置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 一般社団法人日本科学飼料協会 科学飼料研究センター動物実験指針 一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験委員会運営要領 一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験管理委員会運営要領
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 一般社団法人日本科学飼料協会 科学飼料研究センター動物実験指針等の規定に基づき、獣医師 1 名、動物実験経験 2 名、動物実験に従事しない者 1 名からなる動物実験管理委員会が設置され、動物実験実施計画立案時に審査承認を行っている。 また、有識者からなる動物実験委員会が動物実験管理委員会を監督している。 昨年度指摘のあった休職者があった場合の対応（代理を置くことができる）が追加されていることを「一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験管理委員会運営要領確認」に追加

し、改訂予定であることを確認
4) 改善の方針 なし

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験実施計画申請要領
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 動物実験実施計画立案時に審査承認を行っている。 動物実験実施計画申請要領 別添 動物実験フローチャートにより手順を確認 動物実験計画申請書においてバイオプシー等の現在で試験として想定のされない項目があるため、申請時の報告項目の精査を行う。
4) 改善の方針 動物実験計画申請書の項目を見直す。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組み換え実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ☒ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 一般社団法人日本科学飼料協会 科学飼料研究センター動物実験指針 「体細胞クローン技術の高度化および遺伝子組換えブタの維持・保存に関する研究開発」における実験安全管理規定 MANU/GTX508 サルモネラ感染試験 (鶏)マニュアル MANU/GTX501~508 海水魚飼育マニュアル SOP/CLN013 薬品および試薬の表示と管理
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 昨年度指摘のあった病原性微生物の規定の整備について、病原性微生物に関するマニユ

アルが改訂されたことを確認
遺伝子組み換え技術に関しての規定の見直しが必要

4) 改善の方針

遺伝子組み換えに関しての最新のガイドライン等を踏まえて、マニュアルの整備を行う必要がある。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に施設管理責任者が置かれているか?)

1) 評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

SOP/INS001 施設等の管理規定

SOP/INS004～ 各機器、施設管理手順

施設管理責任者一覧

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

動物実験指針上の管理者 (GLP 規定上の運営管理者) により実施されていることを確認
 SOP/INS001 により各施設には管理責任者が任命されている。各施設の管理責任者はその施設に設置されている機器の管理責任者も兼ねており、機器、施設毎に定期点検あるいは精度校正の手順が定められている。また、当該施設で動物試験を実施している間に機器、施設の故障等が認められた場合には、当該実施試験の責任者から施設管理責任者に連絡するよう定められており、機器、施設の使用、管理状況を施設管理責任者が一元的に把握している。また GLP 施設に対しては、QA の検閲も実施している。

4) 改善の方針

なし

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取組及びその点検・評価結果)

リスクアセスメントを実施し、安全管理の強化を図っていくため体制を整える必要がある。

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験管理委員会

（動物実験管理委員会は、機関内規程に定めた機能（主に動物実験計画書の審査、承認）をはたしているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部実施方法に改善すべき点がある。 ☐ 実施方法に多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験管理委員会運営要領 一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験実施計画申請要領
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 提出された審査申請書に関して速やかに審査を行っている。 申請書の審査を行い、アニマルウェルフェアに反する計画について不承認の判定を下すことが出来ている。
4) 改善の方針 なし

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査申請、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験実施計画申請要領 2025 年度分の 科学飼料研究センター 動物実験計画審査申請書（様式 1） 科学飼料研究センター 動物実験計画（変更・追加）承認申請書（様式 3） 科学飼料研究センター 動物実験（終了・中止）報告書（様式 3）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 審査件数：46 件 〈承認 43 件〉実施 29 件（終了報告 28 件 1 件は実施中） 2025 年時実施試験数 29 件（終了報告 28 件 1 件は実施中） 審査申請書に関して速やかに審査を行っており、定期的に試験の実施状況を確認して、終了した試験については、動物実験終了報告書が提出を促している。

4) 改善の方針

なし

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果

☒ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。

☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

☐ 多くの改善すべき問題がある。

☐ 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

本会 GLP 試験で用いる SOP

日本科学飼料協会科学飼料研究センター飼養衛生管理マニュアル

ISO/2-014 リスクアセスメント規程

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

・申請書に記載された対象動物に適合した動物実験実施場所であるか、供試品についての情報等の安全性について等の審査を行っている。

リスクアセスメントの予定が確認できた。(2026 年 7 月 2 日実施予定)

4) 改善の方針

実施したリスクアセスメントの結果を確認し、対応がとられることを確認する必要がある。

4. 実験動物の飼育保管状況

(管理者の活動は適切か? 飼養及び保管は標準操作手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果

☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

本会 GLP 試験で用いる SOP

日本科学飼料協会科学飼料研究センター飼養衛生管理マニュアル

2025 年度分の

各畜舎の業務日誌、入退室記録簿

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

動物の飼育に関して各畜舎に設置されている施設の入退室記録簿と業務日誌で作業が行われてことを確認した。

4) 改善の方針

なし

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか？修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？)

1) 評価結果

■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。

□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

□ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

SOP/INS001 施設等の管理規定

SOP/INS004～ 各機器、施設管理手順

日本科学飼料協会科学飼料研究センター飼養衛生管理マニュアル

2025 年度分の

SOP/001-01～08 各畜舎の利用状況表

QAU007-02 施設等の定期検閲結果報告書

QAU007-03 施設等の定期検閲結果の改善指示書

QAU007-04 施設等の定期検閲結果に対する改善報告書

各畜舎の業務日誌

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

各施設の定期点検簿および QA による施設等の定期検閲の結果から、施設の維持管理を確認した。

4) 改善の方針

なし

6. 教育訓練の実施状況

(試験責任者、担当者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？)

1) 評価結果

■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

□ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

一般社団法人日本科学飼料協会 科学飼料研究センター動物実験指針

研修報告書

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

アニマルウェルフェアに関する自習形式で研修会が実施されたことを研修会資料および研修報告書で確認した。

4) 改善の方針

なし

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果

☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

一般社団法人日本科学飼料協会 科学飼料研究センター動物実験指針

一般社団法人日本科学飼料協会 動物実験に関する自己点検・評価の実施要領

一般社団法人日本科学飼料科学飼料研究センターWeb

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

自己点検・評価を年1回実施

HPに自己点検・評価報告書(2024年度)を公開されていることを確認

4) 改善の方針

「動物実験に関する情報公開に関する更なる取組について(国立大学法人動物実験施設協議会幹事会HP)」をもとに情報公開の方法の見直しを図る

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

申請書について回覧審議が主流になり、自己点検で指摘された事項への対応を確認した記録がなく、必要な事項について、確実に対応が行えるように、実験管理委員会を適宜開催し、審議の上で対応する。

本自己点検・評価報告書の結果を踏まえ、規定の改訂等の改善措置を講じていきたい。

9. 自己点検・評価の実施記録

日付	2026年6月24日